

事務事業名		伊那谷美術展示公開事業			会計		一般会計		事業種別		政策		開始		1		終了			
課等名		美術博物館			係等名		学芸係													
基本計画上の位置づけ		政策		2		地育力によるこころ豊かな人づくり														
		施策		29		ふるさと意識の醸成														
目的	対象(誰・何を)		1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動																	
	意図(どういう状態にするか)		1 展覧会の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する 2 調査研究活動の内容を地域に還元する																	
	向上させたい上位施策の成果指標		1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)																	
						指標名及び単位		24年度数値												
						圏域住民数(人)		166860												
目標	種別		指標名及び単位																	
	成果指標		展覧会の観覧者数(延べ人数)		17000		24年度実績		14181		25年度計画		11500		28年度見込み				備考(指標変更など)	
	成果指標		実施した展覧会(特別展・企画展・特別陳列)の回数(回)		5		5		4											
	定性目標																			
事業概要		<p>飯田下伊那地方は、江戸時代の佐竹蓬平や鈴木芙蓉を筆頭に、様々な美術家を輩出した地域である。これら伊那谷に関わりのある美術家について平常展示や特別展を実施する。この事業により伊那谷ゆかりの美術に触れる機会を提供し、飯田における文化芸術の振興を促す。またこれによって地域への誇りと愛着へと結びつける。</p> <p>この事業は以下の内容となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 郷土作家の館蔵品・寄託品などを平常展示を通じて市民に公開する。 郷土作家に関する特別展を計画し、実施する。 																		
		事業内容														名称		活動指標		
24年度事業内容	1 寄贈特別展「滝沢具幸展」 4月27日～6月10日		郷土出身画家滝沢具幸(館長)の展覧会。														1 開催した特別展・企画展の回数		1 3回	
	2 特別陳列「正宗得三郎」 11月3日～12月24日		三穂地区に疎開した正宗の寄贈作品と三穂地区の作品を紹介。														2 開催した平常展示の回数		2 2回	
	3 第13回現代の創造展 2月3日～2月24日		飯田下伊那地域で現在活動する作家、出身作家の近作展。																	
	4 平常展示「岩崎新太郎コレクション」 1月14日～24日		明治大正期の日本画家の書画作品を展示。																	
	5 平常展示「藤本四八-熊野-」 3月2日～4月14日		松尾出身写真家藤本の寄贈写真より、熊野を撮影した作品を展示。																	
事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足										
事業費計(千円)①		0		6,157		5,044		7,343		[24特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)										
国庫支出金				179		519		1,761		[25特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)										
県支出金																				
起債																				
その他																				
一般財源				5,978		4,525		5,582												
人件費計(千円)②		0				6,079														
正規職員所要時間						1,700														
臨時職員所要時間																				
総事業費①+②		0		6,157		11,123		7,343												
事業内容・目標達成状況の振り返り		特別展「滝沢具幸」と企画展「正宗得三郎」が観覧者数目標に達しなかった。																		
改革改善の考え方	①問題点		広報活動が不足している。																	
	②改革提案		新聞ほか様々なメディアへの働きかけを強化する。																	